

会議録

| | |
|---|---|
| 会議の名称 | 平成24年度 第6回西東京市スポーツ推進審議会 |
| 開催日時 | 平成24年9月12日（火曜日） 午後7時00分から9時00分まで |
| 開催場所 | 保谷庁舎4階 第3会議室 |
| 出席者 | 委員：北岡会長、指田委員、内田委員、村上委員、池上委員、林委員、諸岡委員、飯塚委員 （欠席）岡田委員、姉松委員 事務局：等々力課長、後藤係長、加藤主任、齋藤主事 |
| 議題 | 1 平成24年度西東京市スポーツ振興事業補助金の交付金について 2 西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査におけるアンケート内容について 3 その他 |
| 報告事項 | 1 第68回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会について 2 その他 |
| 会議資料の名称 | 資料1～3 平成24年度西東京市スポーツ振興事業補助金の審査結果1～3（当日配布） 資料4 西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査におけるアンケート（事前配布） 資料5 スポーツ祭東京2013バスケットボール競技リハーサル大会について（当日配布） |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |
| 会議内容 | |
| <p>1 配布資料の確認</p> <p>2 報告事項</p> <p>（1）第68回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会について</p> <p>○事務局：</p> <p>8月11日～13日に総合体育館において「第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会」を来年の国体のリハーサル大会と位置づけ、立川市、武蔵野市、小金井市、東村山市、西東京市の5市で共同開催をした。市内小・中学校生徒、NPO法人西東京市体育協会、地元企業、市民ボランティアの方々など多くの協力を得て、無事に終了したことをご報告させていただく。</p> <p>また、今後の予定はデモンストレーションとしてのスポーツ行事であるティーボールのリハーサル大会を今年度11月25日に早稲田東伏見キャンパス準硬式野球場で実施を予定してい</p> | |

る。今後も委員の皆さんのご協力を賜ると思うがよろしくお願ひさせていただきます。

○会長：

ただいま、事務局から報告があったが御意見や御質問はあるか。

○委員：

(質問・意見なし)

(2) その他

○事務局：

8月27日から30日の4日間の日程で、「子供の競技力集中講座」を実施した。この事業は東京都自治調査会の補助金を活用したもので、トップアスリートを招聘し市内中学生を対象にバスケットボール競技と陸上競技の集中講座を行う事業であった。4日間、けがもなく終了し、参加した生徒たちからも充実した意見が多く寄せられた。関係各位の協力を得て、成果のある効果的な事業となり無事に終了したことをご報告させていただきます。

単年度の事業ではなく3ヵ年続けての継続実施事業なので、都度改めて報告していきたい。

○委員：

種目がバスケット競技と陸上競技になった理由はあるか。参加人数は何人か。申込は抽選であったのか。

○事務局：

バスケットボール競技は、来年度開催されるスポーツ祭東京2013での当市の正式競技であること。陸上競技は走ることはすべての競技の基本となるという考えから、今年度はこの2種目の開催となった。参加人数は、バスケットボール競技は40名。陸上競技は27名。両種目とも定員40名で募集をしていたため応募者全員が参加できた。

○会長：

他に御意見や御質問はあるか。

○委員：

(質問・意見なし)

2 議題

(1) 平成24年度西東京市スポーツ振興計画事業補助金の交付について

○事務局：

4件の申請（空手2件、バドミントン2件）について資料1～3に基づき説明。

○会長：

ただいま、事務局から説明があったが御意見や御質問はあるか。

○委員：

資料3の申請については往路分の交通費のみが対象経費として計上されているのは、復路で申請者の私用で別の場所に立ち寄りがあったためとの説明であったが、そういった場合は

対象経費とは認められないのか。

○事務局：

原則として自宅から開催地までの往復の交通費を算定基礎としているため、私用で別の場所に立ち寄った場合等は対象経費として認められないこととなっている。

○会長：

他に御意見や御質問はあるか。

委員：

各々が出場した大会結果はどうであったか。

○事務局：

空手は、まだ報告がきていない。バドミントンは、予選敗退及び決勝リーグ1回戦敗退であった。

(2) 西東京市スポーツ推進計画策定に伴う市民意識調査におけるアンケート内容について

○事務局：

調査対象合計4,200名程度。一般市民アンケート及びスポーツ施設登録団体アンケートは、封書で送付し返信封筒により回収。児童生徒アンケートは、教育委員会を通じて交換便で各小中学校へ配布し直接回収。高等学校については、各学校へ直接出向いて配布及び回収を行う予定である。なお、児童生徒アンケートの内容については、10月19日の校長会にて説明をする。市民意識調査のアンケート項目をもう少し増やしたかったが、回答率が下がることも懸念されるため、適当だと思われる8ページで設計した。御意見や御質問があればいただきたい。

○会長：

ただいま、事務局から説明があったが御意見や御質問はあるか。

○委員：

アンケートの項目中で、小学生が回答できない項目もあるがどのように対応するのか。

○事務局：

各委員に資料4として配布してあるのは、市民向けのアンケート用紙であり、各世代別にアンケートを準備している。

○委員：

スポーツを実施している人と、実施していない人とでは、推計ではどちらが多いか。

事務局：

前回調査としては、スポーツを実施している人の方が多く、運動頻度の実態を考察すると、運動頻度が高い人は限定的であると思われる。

○委員：

施策的に重要なのは、スポーツを実施していない人のグループ中で、スポーツをする必要

性を感じている人に対するアプローチであると思う。現在スポーツを実施していなくて、必要性を感じている人の割合をある程度把握する必要があるのではないかと感じる。

○事務局：

意見を踏まえて再考する。

会長：

体育の授業に関しては回答の要素として含まれるのか。

事務局：

含まれない。

○委員：

対象となる学校の選定について、対象となる小・中学校が接近しているのではないのか。

○事務局：

市内スポーツ施設の分布状況から、比較的施設密度が低い地域（市北部・市南東部）から小中2校ずつ、高い地域（市東部・市西部）から小中2校ずつ選定するとともに、中心部（市中央部）の小学校1校を選定した。以上のような視点で区分し、できる限り離れた学校を選定している。

○委員：

了解した。

○委員：

問18の指導者からの指導を受けているかの質問の回答を、簡潔に回答できるようにした方がよい。回答の選択肢で「どちらでもない」というのが入っていないが、除いた方がよいのか。

事務局：

「どちらでもない」という回答の選択肢は、質問の一切に対して無回答なのか、選択肢中に回答が無いという意味なのか、いずれの意思決定なのかの判別がつきづらいので、選択肢に入れなかった。

○委員：

年齢の区分について、現在は70歳以上で一括りにしているが、最近では70歳でも運動実施率が高いと思われる。75歳以上の区分を追加し変更した方がよいのではないのか。

事務局：

75歳以上の区分を追加する。

○委員：

どの程度のアンケート回収率を見込んでいるか。

○事務局：

前回調査時が50パーセント弱の回収率であったようなので、同程度の数値を目標にはしているが、40パーセント前後が堅実的な見通しではないかと考えている。

○委員：

問10でスポーツする頻度の質問の選択肢の並び順に誤りがあるようである。

事務局：

誤りである。訂正する。

○委員：

一般市民アンケートを依頼する人の年齢層は、事前に把握できるのか。

○事務局：

住民基本台帳から18歳以上の男女2,000人の住民を無作為に抽出するため、均等になるのではないかと考えている。

○委員：

アンケートに回答する人の性質として、スポーツに理解がある人の回答率が高いのではないか。アンケートの信頼性や特性を考えると、スポーツに関心が低い人からの回答が重要であり、課題であると考ええる。

○事務局：

アンケート送付の際に市名義の封筒を利用し、アンケートを受領する側への信頼性を高めることができるようにしていきたいと考えている。

今回の審議会用に、各委員に事前に配布したのは一般市民向けのアンケートの資料であり、今回の審議経過を踏まえて、今月中旬に児童生徒アンケート、スポーツ施設登録団体アンケートを各委員に送付する。次回審議会で改めてご意見いただきたい。

○会長：

他に御意見や御質問はあるか。

○委員：

(質問・意見なし)

○会長：

本日予定されている議題は全て終了した。

以上